

九重町の当初予算

令和3年度は、昨年の7月豪雨災害により被災した箇所の復旧事業（予算額：4億5,628万円）や継続事業の2年目である防災行政無線デジタル化整備事業（予算額：2億848万円）、新型コロナウイルスワクチン接種関連事業（予算額：7,562万円）等により、対前年度比4億900万円増（+5.1%）の予算となりました。

本年度は何といても、令和2年7月豪雨災害からの早期復旧を最優先とし、緊急性のあるものを除き、事業を抑制しながら組み立てています。また、コロナ禍において社会経済活動と感染防止対策の両立を図るべく、ワクチン接種や感染防止、産業への支援などの予算を計上しています。

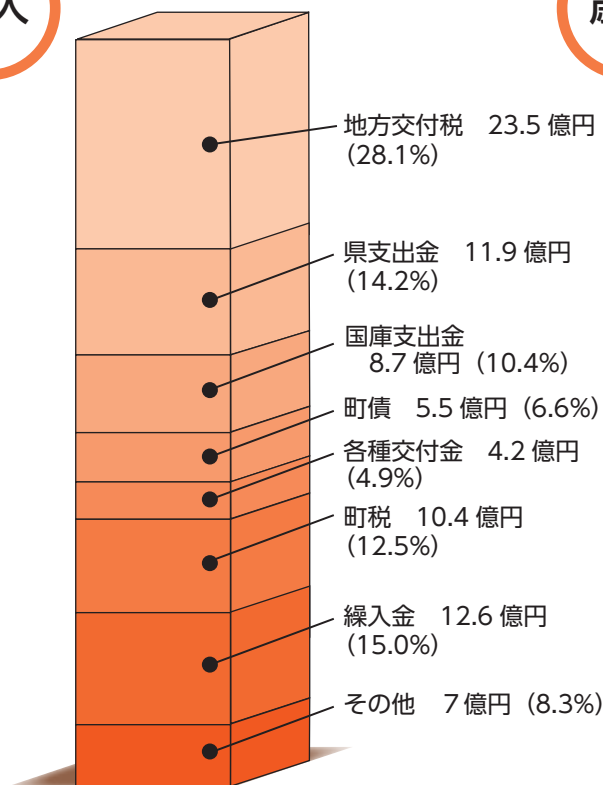
今後も、各種事業の進捗状況を踏まえた評価・検証・見える化を段階的に実施しながら、財政の弾力性を維持しつつ、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

一般会計の内訳

83億8,300万円

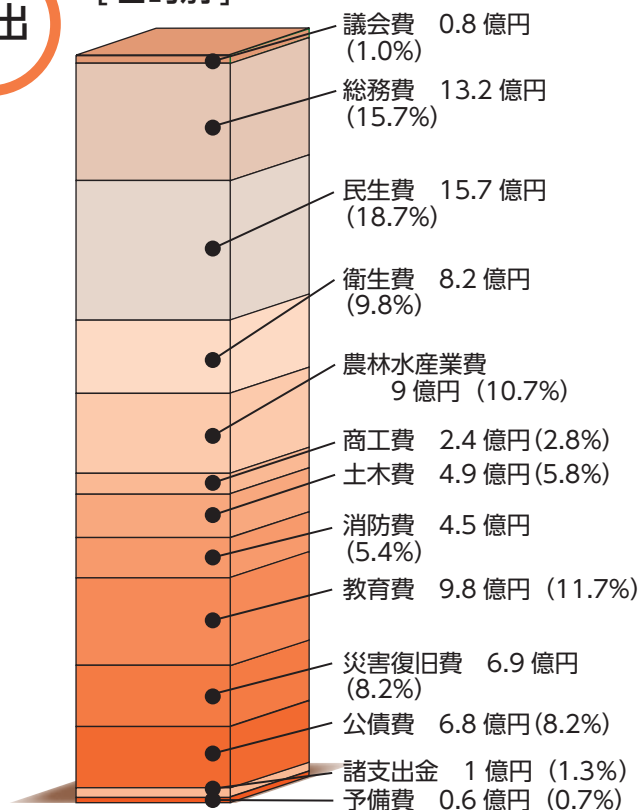
(令和2年度対比
4億900万円増 [+5.1%])

歳入



歳出

[目的別]



特別会計

32億677万円

特別会計は、特定の収入をもって特定の事業を行うため、一般会計と区別して事業を行うもので、独立採算が原則です。5会計総額で、約32億677万円のうち、最も多いのは、介護保険事業で、14.61億円（45.6%）。次いで、国民健康保険事業の14.14億円（44.1%）となっています。

区分	予算額	対前年度比
国民健康保険	14億1,412万円	▲ 3.1%
水道	1億1,805万円	▲49.3%
飯田高原診療所	7,200万円	5.6%
介護保険	14億6,161万円	▲ 0.1%
後期高齢者医療	1億4,099万円	0.2%